

## 2015年度湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

### フィリピンの貧困地域カシグラハン再定住地における子どもへの読み聞かせや eラーニングが学力に与える効果測定

慶應義塾第総合政策学部 4年 西井秀太郎

#### 1. 活動日程・会場

2015年8月24日～2015年8月29日に、JICAの草の根協力支援型事業に採択された「マニラ首都郊外咲いて住地における貧困層の子どもを対象としたライフスキル教育プログラム構築事業」に協力した。参加者は別紙の通り。

#### 2. 活動の目的

本調査は、特定非営利活動法人「ソルト・パヤタス」との共同調査である。ソルト・パヤタスは「マニラ首都郊外再定住地における貧困層の子どもを対象としたライフスキル教育プログラム構築事業」と称して、JICAの草の根協力支援型事業に採択されており、現在フィリピンのカシグラハン地域に図書館を建設している。この図書館を拠点として、その地域に暮らす親と子どものライフスキルを向上させるような施策を行い、その効果を測定した。本調査に先駆けて、科研基盤「グローバル社会変動下のリスクとくらし：先端ミクロ計量経済学を用いた実証・政策研究」の研究代表である東京大学経済学部の澤田泰幸教授らの研究チーム（指導教員である中室を含む）が、2015年4～5月にカシグラハン地域で子どもを持つ2,000世帯を対象としたセンサス調査を実施しており、このデータと上記の拠点を活用した施策を行った。本調査は、ソルト・パヤタスおよび澤田教授らのチームから協力の要請を受けて行った。

#### 3. 活動の成果

センサス調査で取得されたデータを以下にまとめる。

#### Research Design

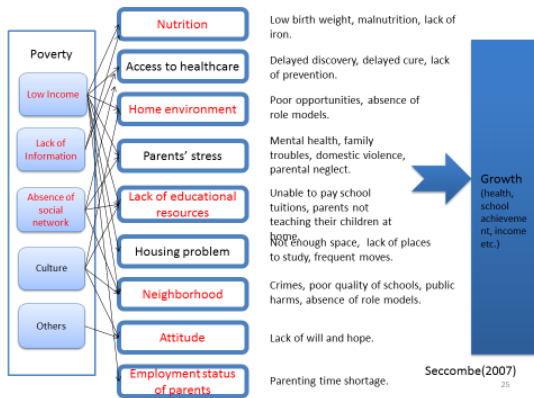
- Interventions “d” targeted to:
  - Children by different age group
  - Adults
- Possible interventions “d”:
  - Reading and (supplemental) education program
  - Financial incentives (partial scholarship)
  - Financial literacy program
  - Information provision
  - Framing interventions
  - Nutrition (*merienda*) program

23

#### Overview of the Research Project

- Baseline survey in Kasiglahan Village (KV)
  1. **Region survey:** Randomly selected households in 1D & 1K blocks (App. 400 households) [completed]
  2. **HH survey:** All households from students attending Unit 1 KV Elementary School [completed]
  3. **Child survey:** Randomly selected students attending Unit 1 KV Elementary School from K through G6 (app. 600 students) [Start from August]/ The one associated w Region survey is completed.
- The data we will obtain from Unit 1 KV Elementary School
  1. Student achievement for each semester (evaluations for each subject and non-cognitive skills)
  2. Height and weight

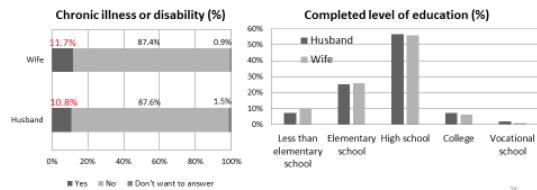
24



The results from HH survey [1] Home environments

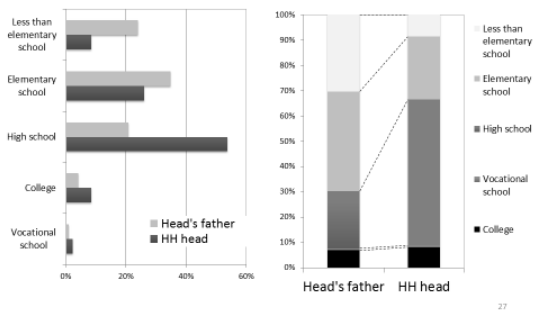
### Characteristics of Husband and Wife

	HH head	Spouse
Age	42.1	40.4
Years of schooling attended	9.5	9.3
Attended pre-primary school	32.8%	34.5%
Can read and write in Filipino	97.2%	98.5%
Can read and write in English	94.1%	95.6%



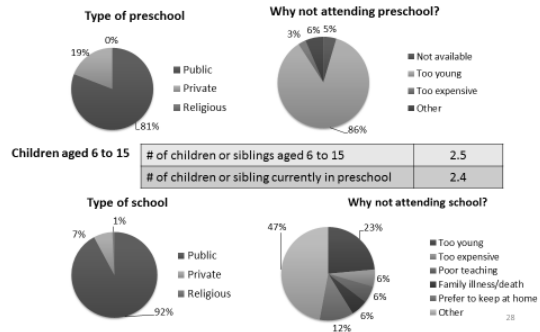
The results from HH survey [1] Home environments

### Intergenerational Transfer of Education



The results from HH survey [2] Educational resource

Children aged 3 to 5	# of children or siblings aged 3 to 5	# of children or sibling currently in preschool
	1.5	0.4



## 4. 今後の課題

ソルト・パヤタスのこれまでの活動実績からも分かる通り、教育は人々の「変える力」を伸ばすことが十分に可能である。持続可能な開発と発展のためには、彼ら自身に社会を切り拓く強い力を蓄えてもらうことが重要である。開発途上国では人々は、将来を予測して設計し生活するというスキルが不足していると考えられる。彼らに必要なことは、将来に起こりうるイベントに備えて行動するというライフスキルの向上である。

本調査で明らかになる彼らの生活の実態を計量経済学的に分析し、実証・政策研究を行っていくことで、現実的な政策を提案していくことができると期待する。先端ミクロ計量経済学の研究分野においても、重要な役割を果たしていくことができるだろう。

## 5. 謝辞

本調査の実施にあたり、資金面でのご支援をいただいた湘南藤沢学会様に厚く御礼申し上げます。